

越前市議会だより

第72号

令和5年(2023年)5月15日(月)
発行 編集 越前市議会
〒915-8530
福井県越前市府中一丁目13番7号
TEL:0778-22-3426
FAX:0778-23-3000
https://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html



市議会が注目した事業

北陸新幹線開業記念事業 北陸新幹線開業機運醸成事業

事業内容

- 開業イベントの開催
- 年間を通じた機運醸成
- 越前たけふ駅の情報発信
- ロゴマークやPR商品の製作

主な論点

- 事業の内容
- 近隣市町との協力体制

予算7,310万円

紫式部プロジェクト事業

事業内容

- 大河ドラマ館
- オリジナルV-Tuber 開発・活用
- プロモーション・機運醸成

主な論点

- 事業の内容、予算の内訳
- プロジェクトの市民への波及

予算2億4,200万円

地域交通対策事業

事業内容

- アプリ・電話予約を使った乗合交通の実証実験
- 交通不便地域での自家用車を使った乗合交通の実証実験

主な論点

- デマンド交通の進め方
- 交通弱者への配慮

予算1,595万1千円

住宅支援事業

事業内容

- 〈拡充〉
- 移住者の住宅取得を支援
- 中古住宅の取得やリフォームなど活用を促進 他

〈新規〉

- 空き家の実態調査の実施 他

主な論点

- 事業の内容 ●空き家の利活用について

予算1億7,165万5千円

埋蔵文化財調査事業

事業内容

- 越前国府発見のための発掘調査を実施
〈調査予定場所〉
本興寺(国府一丁目)

主な論点

- 文化財の活用方法
- 発掘説明会など市民の参画について

予算350万円

令和5年度当初予算を可決
全会計予算総額 63億1,140万6千円
幸せを実感できるふるさと「ウェルビーイング」の越前市の予算編成

3月定例会では、市総合計画2023に基づき、12のチャレンジプロジェクトを推進するための令和5年度当初予算案が提出され、その審議を行いました。
議員からは、紫式部プロジェクト事業や、新幹線開業記念事業、地域交通対策事業などの新規事業に対し、本会議および各委員会で多くの質疑がありました。特に紫式部プロジェクトについては、年間2億4,200万円の大型プロジェクトであることから、多くの議員が注目し、活発な議論が行われました。
(詳細につきましては、2面・4面〜7面)

3月定例会の概要

令和5年3月越前市議会定例会は、2月17日から3月17日までの29日間にわたって開かれました。

この定例会では、市の方向性を決める重要な案件である越前市総合計画2023基本構想の策定をはじめ、令和5年度一般会計予算案など予算案13件、越前市個人情報保護に関する法律施行条例の制定や越前市土地開発基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正など条例案14件、一般議案2件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、いずれも原案どおり可決されました。
また、監査委員および人権擁護委員に関する人事案5件に同意しました。
このほか、越前市議会の個人情報保護に関する条例の制定および越前市議会委員会条例の一部改正について可決し、議員の派遣1件を承認しました。

本号の主な内容

- 2面 ◆ 議案審議
- 3面 ◆ 議決結果・人事
- 4～6面 ◆ 一般質問 ほか
- 7面 ◆ 委員長報告
- 8面 ◆ 議会モニター1年を終えて
6月定例会の日程

令和5年度 当初予算決まる

総額 631億1,140万6千円 (前年度比 増減無し)

一般会計	368億1,800万円 (前年度比0.2%増)
特別会計	169億1,470万2千円 (前年度比1.3%減)
企業会計	93億7,870万4千円 (前年度比1.7%増)

3月定例会 議案審議



その他の審議については、6月掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム [検索](#)

一般議案審議

課題解決型の総合計画

越前市総合計画2023
基本構想の策定について

問 意見聴取の方法および策定の経緯は。

答 市総合計画審議会や市議会をはじめとした市民意識調査、高校生や大学生へのアンケート、8回の地域ミーティング、ワークショップ等、幅広く意見を聞いてきた。これらの意見や課題を集約し、本市の抱えている課題を市総合計画に記載し、その解決策を2040年に向けて取り組むテーマや政策の取組方針として基本構想にまとめた。

問 課題解決型とした理由は。

答 社会経済情勢が大きく変化しているところであり、市民の抱えるさまざまな課題やふるさとづくりの課題を解決し、中長期的に本市の活力と元気を維持、拡大させていくことが必要と考えたためである。課題を解決することにより、市民の幸福感が高まるものと考えている。

条例審議

重点事業に対する基金を設置

越前市こともまると応援基金
条例の制定について

越前市企業誘致基金条例の制定について
条例の制定について

問 基金設置の理由は。

答 こともまると応援基金および企業誘致基金は、今回策定している総合計画において、5年間の優先的、重点的チャレンジプロジェクトに位置付けている。こともまると応援基金は、子育て支援、少子化対策に積極的に取り組むための財源として、企業誘致基金は、補助を行うにあたっての財源確保が課題となっていること

から、基金を設けることとした。企業版ふるさと納税基金は、国の指導に基づいて設けるものである。

令和5年度一般会計当初予算審議

千載一遇の機会を生かすために

紫式部プロジェクト事業

2億4200万円

問 事業の内容は。

答 大河ドラマ館の整備による観光誘客やNHKと連携したPR、紫式部などのキャラクターを活用したVチューバーなどによるプロモーションを行う予定である。また、関連商品の開発や機運醸成など市民や企業の皆さんと一体となって進めていきたいと考えている。



紫式部プロジェクトキャラクター「紫式部(デフォルメ)」

問 プロジェクト事業の市民への波及は。

答 推進協議会を設置し、協議会がプロジェクト事業を運営することになっている。協議会の中には県や経済団体、観光団体、文化団体に入ってもらうことになっており、ほかにもプロジェクトに賛同する企業や団体にも幅広く継続的に加入してもらえよう取り組んでいく。一緒に盛り上げていくことで、市全体に波及し、各団体でも関連イベントが開催され、やがては市全体で盛り上がるようになるものと考えている。そのためには市民、団体、企業の皆さん大勢に参加していただけるよう促していく必要がある。

問 事業費の内訳は。

答 事業のうち、大河ドラマ館については2年間の予算計上を予定しており、令和

5年度が1億5500万円、令和6年度は1億4500万円となっている。そのうち1億円については、入場料で賄う予定である。Vチューバー活用プロモーションについては事業費1億円のうち、半分は国の補助金、残り半分はグッズ販売やコンサートのチケット収入で確保したいと考えている。

その他、プロモーションの周知、機運醸成に4700万円を計上している。令和5年度事業費は、合計で3億200万円になるが、そのうち6000万円を収入で賄うものである。

問 大河ドラマ館の開館時期は。

答 令和6年2月下旬頃から、大河ドラマが終了する令和6年12月末頃までを予定している。

定住化倍増プロジェクト

移住・定住化促進事業

895万9千円

問 支援メニューの内容は。

答 支援メニューは3つの補助制度がある。1つ目は、移住の下見活動等に対する補助を行うもの。2つ目は、下見活動の補助を活用した人が本市に移住した際に、初期支援金として一律10万円の支給を行うもの。3つ目は、東京圏からの移住者に対し、単身で60万円、家族の場合は100万円を支給するもの。令和5年度から家族の場合は、18歳未満の子どもに対してさらに100万円を加算する。

問 移住相談のワンストップ窓口設置先は。

答 政策推進課内に設置する。来庁者に分かりやすいように、案内板を設置し、ホームページでも案内する。

問 東京圏からの移住に対する補助が他の地域からの移住と比較して高額な理由は。また、是正の措置は行わないのか。

答 国が東京への一極集中の是正のために補助金をつけていることによる。是正については、関西、中京圏からの移住が多い現状を踏まえ、ターゲットを絞りながら引き続き検討していきたい。

新幹線開業後も見据えて

北陸新幹線開業記念事業

600万円

問 事業内容は。

答 新幹線試験走行の際の歓迎セレモニー、駅舎見学会、武生商工高校生製作のカウントダウンボードを展示する。そのほかノベルティグッズや伝統工芸品を詰め合わせた開業記念グッズの製作などを計画している。

問 近隣市町は本事業に関わっているのか。

答 駅に関する予算は、新しく駅を設置する自治体に、県から補助が出る形になっている。近隣市町との連携については、今後、各自自治体との協議が必要だと考えている。

未来の越前市を担う人づくり

夢ある子ども育成事業イベント委託料

350万円

問 事業の内容は。

答 児童・生徒が越前市の良さを認識することともに、ふるさとへの誇りを持ち、愛する気持ちを高めることを目的とした事業である。

主な取り組みは2つあり、1つ目は、小学3年生が、市の歴史や文化に関する場所を訪問し、体験したことをコンテストで発表し、道の駅のデジタルサイネージのウェルカムボードとして市のPRにつなげるもので、2つ目は、小・中学生が市内の好きな場所や人、物を撮影し、コメントを添えて体感したことを作品として応募する場を設けるものである。

問 予算の内訳は。

答 体験学習費用として、体験料70万円、バス代200万円、コンテスト審査員の謝礼15万円、道の駅デジタルサイネージデータ制作費25万円、情報誌掲載費40万円の合計350万円を計上している。そのうちデジタル田園都市国家構想交付金175万円を充当している。

議案の議決結果

令和5年3月越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	付託委員会	議決結果
議案第1号	令和4年度越前市一般会計補正予算(第9号)	総務 教育厚生 産業建設	可決(全員)
議案第2号	令和4年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	教育厚生	可決(全員)
議案第3号	令和4年度越前市介護保険特別会計補正予算(第2号)	教育厚生	可決(全員)
議案第4号	令和4年度越前市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	教育厚生	可決(全員)
議案第5号	令和4年度越前市下水道事業会計補正予算(第2号)	産業建設	可決(全員)
議案第6号	令和5年度越前市一般会計予算	総務 教育厚生 産業建設	可決(多数)
議案第7号	令和5年度越前市国民健康保険特別会計予算	教育厚生	可決(全員)
議案第8号	令和5年度越前市介護保険特別会計予算	教育厚生	可決(全員)
議案第9号	令和5年度越前市後期高齢者医療特別会計予算	教育厚生	可決(全員)
議案第10号	令和5年度越前市水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)
議案第11号	令和5年度越前市工業用水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)
議案第12号	令和5年度越前市下水道事業会計予算	産業建設	可決(全員)
議案第13号	越前市土地開発基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について	総務	可決(全員)
議案第14号	越前市社会基盤整備基金条例の一部改正について	総務	可決(全員)
議案第15号	越前市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	総務	可決(全員)
議案第16号	越前市部設置条例の一部改正について	総務	可決(全員)
議案第17号	越前市自転車置場設置及び管理条例の一部改正について	総務	可決(全員)
議案第18号	越前市手数料条例及び越前市印鑑条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)

議案	件名	付託委員会	議決結果
議案第19号	越前市国民健康保険条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第20号	越前市コミュニティーセンター設置及び管理条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第21号	越前市こどもまるごと応援基金条例の制定について	教育厚生	可決(全員)
議案第22号	越前市企業誘致基金条例の制定について	産業建設	可決(全員)
議案第23号	越前市企業版ふるさと納税基金条例の制定について	産業建設	可決(全員)
議案第24号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	産業建設	可決(全員)
議案第25号	越前市附属機関設置条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第26号	越前市公民館設置及び管理条例等の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第27号	越前市総合計画2023基本構想の策定について	総務	可決(全員)
議案第28号	財産の無償貸付けについて	総務	可決(全員)
議案第29号	監査委員の選任につき同意を求めることについて		可決(全員)
議案第30号	令和4年度越前市一般会計補正予算(第10号)	総務 産業建設	可決(全員)
議案第31号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
議案第32号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
議案第33号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
議案第34号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
議案第35号	越前市議会委員会条例の一部改正について		可決(全員)
議案第36号	越前市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について		可決(全員)
請願第1号	所得税法第56条の廃止を求める意見書の採択を求める請願	総務	不採択(賛成少数)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。(賛成：○ 反対：× 欠席：欠)

議案	会派名 議員名	賛 否																			
		会派 郷働					会派 創至				市民ネットワーク			誠和会		一志会	諸	諸	諸		
		近藤 光広	橋本 弥登志	小玉 俊一	川崎 悟司	城戸 茂夫	能勢 淳一郎	中西 昭雄	題佛 臣一	安立 里美	小形 善信	土田 信義	砂田 竜一	吉田 啓三	畑 勝浩	大久保 健一	川崎 俊之	佐々木 哲夫	清水 一徳	桶谷 耕一	大久保 恵子
議案第6号	令和5年度越前市一般会計予算(可決)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	欠	○	○	×
請願第1号	所得税法第56条の廃止を求める意見書の採択を求める請願(不採択)	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	議長	×	×	×	×	欠	×	○	○

(注) 議長は採決には加わっていません。 諸：諸派

越前三国競艇企業団議会議員
大久保 健一

南越清掃組合議会議員
小形 善信



川崎 俊之

3月定例会 議会人事

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

3月定例会で採決された人事

遠藤 重子氏(北町)

谷口 真理子氏(四郎丸町)

重屋 志啓盛氏(菖蒲谷町)

品川 満氏(武生柳町)

3月定例会 一般質問

3月定例会では、18人の議員が2月28日、3月1日、2日の3日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

防災

個別避難行動計画に支援者の確保と情報提供を

避難行動要支援者への、個別避難行動計画作成が義務づけられたが、高齢化が進む地域での支援者確保や計画作成に関するマニュアル等が必要ではないか。

支援者の確保は大きな課題である。支援者が見つからない場合は、自主防災組織における連絡体制や安否確認方法の再確認等、各町内への働きかけを強化する。また、計画作成に取り組みマニュアルは必要であり、市で作成を進める。

他の質問項目

・マイナンバーカード申請を理解していない方への周知と支援を
・インフルエンザ感染拡大で子どもへのワクチン接種に支援が必要

会派 創至

安立 里美



空き家の漏水対策を示せ

1月の寒波の影響で、特に空き家の水道管から水漏れがあり、市の広範囲で断水となる恐れがあったが、今後の市としての対策は。

空き家における漏水を防止するため、長期間未使用の水道は、所有者自身が止水するか、市へ閉栓を申し込むことが有効と考えている。市広報紙やホームページで、水道管の凍結防止対策や漏水の対応処理などを掲載し注意喚起を図っている。

他の質問項目

・歩道の除雪について
・JR武生駅周辺の宿泊客へのおもてなしについて

市民ネットワーク

砂田 竜一



災害時の危機管理について

1月24日、大雪により、JR武生駅で約80人の帰宅困難者が発生した。一時避難所となった市役所までの、市職員による誘導は素晴らしかったが、駅構内の放送が使えない、避難所設置情報の掲示が出来ないなど、連携が上手く出来ていないように見受けられた。災害発生時の取り決めはどうなっているのか。

災害時におけるJRおよびJR武生駅との具体的な取り決めは、現時点ではない。今後、課題解決に向け相互で協議していく。

他の質問項目

・越前伝統工芸の海外展開について
・今立地区での乗り合い交通実証実験について

誠和会

畑 勝浩



災害時における避難所整備の充実について

災害時の避難所は、頻発する災害に伴い良好な生活環境の確保が求められている。国の指針やガイドラインの改定に合わせて、指定避難所の充実、整備が必要だが、避難所の給電設備についての認識は。

避難所で停電が発生した場合、携帯電話の充電などの電源確保については、電気自動車による給電システムの導入を含めて、非常用発電機配置、再生可能エネルギーの利用など、多くの系統で電力を供給する体制を整備することが重要と考えている。

他の質問項目

・障害者手帳の電子化(ミライROID)の推進について
・妊娠・出産包括支援事業の充実について

諸派(公明党)

桶谷 耕一



総合計画

文化財保存と活用について

発掘調査の公開はもとより、市内に観光客を呼び込む仕掛けや、文化財の保全と公開を兼ねた施設の設置についての市長の考えは。

大河ドラマ館と連携し、発掘調査の紹介や、まちなかの調査現場に誘導するなどの取り組みを検討していく。また、市が保有する文化財については、保存施設の収容率が限界を迎えつつある。新幹線開業と併せて、誘客ツールとして活用する側面を踏まえ、展示・体験が可能な施設の必要性を認識している。

他の質問項目

・子ども家庭庁設置を受けて、市の取組は
・児童発達支援センターないの具体的な支援体制は

会派 創至

題佛 臣一



越前国府の発掘調査について

発掘予算、整理収蔵や担当部局の体制が不十分であり、「文化財保護センター」が必要だ。あわせて、古代帆船寺が国分尼寺の可能性が高いと考えるが、市の所見は。

令和5年度は、本興寺境内を発掘調査し、今後の予算は、この進捗により検討する。文化財の展示、保存、体験学習などを行う施設は必要であり、検討していく。また、古代帆船寺は、国分尼寺の候補の一つであり、国府研究を進めるうえで重要と考えている。

他の質問項目

・泉施設の誘致に向けて
・大河ドラマ「光る君へ」への売り込みについて

市民ネットワーク

土田 信義



プロジェクトチームについて

課題解決型の総合計画、幸せを実感できるふるさと「ウエルビーイングの越前市」を实践する上で、市役所をどのような組織にしていくつもりなのか。

年齢・役職にかかわらず、自由闊達な意見交換ができる組織づくりが重要だと考えている。若い職員のアイデア、斬新な提案を引き出し、形にすることで組織全体に挑戦的な空気を生み出せるよう実践していきたい。

他の質問項目

・令和5年度の目玉事業について

誠和会

大久保健一



ふるさとへの誇りシビックプライド醸成について

シビックプライドの醸成に向けた具体的な施策は何か。

具体的には、新たに小・中学校で取り組む、地域の宝を発見し学習する事業、ブランドハンドブックを活用したふるさと教育、越前国府の発掘などにより本市の歴史文化への関心を高める事業である。また、ワークショップやまち歩き等、さらには若者等市民や文化団体等を支援し、居場所や活動の場を増やし、市民の主體的な芸術文化活動の活性化につなげたい。

他の質問項目

・東西幹線道路消雪施設の事業促進について
・和紙Valleyの創造について

一志会

清水 一徳



※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をただすために行う質問のことをいいます。

生活支援

電気・ガス料金値上げに伴う支援を

一般家庭や中小企業に対し早急に支援策を打ち出せ。

本市では、国・県の動向が不明瞭な中、中小企業に限らず電気料金やガス料金の値上げが市民生活に与える影響を窺いながら、当初予算の編成を行ってきた。今後の経済動向、市民生活への影響や、国・県の方針を注視し、庁内各課の情報収集に基づき、必要な施策については補正予算などで措置することとしている。

他の質問項目

- ・太陽光卒FIT電源を活用した地産地消について
・教員の精神疾患患者への対策について



誠和会 川崎 俊之

契約

外郭団体への公金支出を再検証せよ

委託契約を結んでいたNPO団体での事件を受けて、再発防止策をどのように講じていくのか。

各種団体への委託料の支払いは、都度、業務が適正に遂行されているか確認した上で支払ってきた。今回の事案を受けて業務委託の在り方や方法について再検討の必要性があると考えている。市が取り得る再発防止策を、市行財政構造改革プログラム改定作業の中で併せて検討していきたい。

他の質問項目

- ・義務教育について
・基金条例の改正について



会派 郷働 城戸 茂夫

福祉

保育希望者に対する受け入れ体制の状況は

新年度では適正な保育士の確保と配置で、待機児童を出さずに保護者の希望する保育園に入園できるのか。転入や産休明けでの、年度途中の入園にも対応できる体制を整えるべきだ。

国が定める基準を基に、保育の可能な大人が家庭内や近隣にいない家庭を最優先に入園調整中である。現在、年度途中の低年齢児の受け入れが困難であり、多くの企業に育児休業の延長をお願いしている。

他の質問項目

- ・入学にかかる費用など、義務教育費の負担軽減を図ることについて
・国の原発政策の転換に対する市長の考えについて

ヤングケアラーに家事代行支援を

ヤングケアラー支援として、国は新年度、家事や介護などを手伝う家事代行事業を予算化した。既に事業化している先進自治体もある。市も「成育環境にかかわらず、誰一人取り残すことなく健やかな成長を保障する」よう、事業化を検討してほしい。

現在、市ではヤングケアラー本人に対する派遣事業はまだ実施していないが、世話が必要な家族に対する支援により負担軽減を図っている。当事者に寄り添ったきめ細かい対応を重視しながら、取組を進めていきたい。

他の質問項目

- ・引き続き福井県のLGBTQ政策の牽引役を果たすべき事業推進を
・公的資金横領の全容説明と市民への説明を



諸派 おおくぼ 大久保恵子



諸派(日本共産党) 前田 修治

地域交通

地域交通最適化プロジェクトについて

デマンド型交通の導入について、既存の交通事業者との話し合いは進められているのか。

デマンド型交通の実証実験や導入に向けては、タクシー事業者連絡会や、バス事業者との個別協議で可能性や方法について話し合ってきた。具体的な実証実験の進め方(特に運行エリア、利用料金の改定)については事業者間での意見の相違があり調整が必要である。

他の質問項目

- ・子育て支援について
・市民自治と市との公助について



会派 郷働 小玉 俊一

まちづくり

北陸新幹線駅前のまちづくりと総合計画について

総合計画の駅周辺開発プロジェクトにおいて、次世代交流拠点の整備を検討しており、市長所信では名称を「(仮称)越前たけふ未来創造基地」としているが、どのような施設となるのか。

日常利用される飲食や商業施設等のための交流拠点機能と、研究開発などのための活動拠点機能の2つの機能を考えている。令和5年度から基本構想の策定に入り、段階的な整備の在り方を示したい。

他の質問項目

- ・Withコロナの生活について
・特例貸付者への経済対策について

大河ドラマ館から遊歩道を通って紫式部公園までを整備せよ

令和6年2月、武生中央公園に「大河ドラマ館」をオープンし25万人の来館者を目標としているが、そこから多くの人が徒歩で訪れる「紫式部公園」までの整備予定は。

「ふるさとを偲ぶ散歩道」では歌碑や解説板、陶板舗装の補修、剪定などを行う。「紫式部公園」では老朽化したトイレの洋式化・ウォッシュレット化や池の水の浄化、照明施設の改修も予定している。

他の質問項目

- ・並行在来線「畷町新駅」について



会派 創至 能勢淳一郎



会派 郷働 川崎 悟司

公園の活用について

都市公園は市内に多くあるが、紫式部公園、芦山公園、花筐公園など、人を呼び込む資質を持った公園を指定し、しっかりと整備すべきと考え。特に、花筐公園の会館利用の吟味も必要と考えるが、市の考えは。

都市公園には、県内外からの来訪者もあるため、観光に生かすことが重要である。その中で、花筐公園については、歴史、文化の息づく公園として、市内外の方々に愛される公園を目指していく。地元の要望を聞きながら、公園全体の磨き上げが必要であり、花筐会館の在り方についても、今後、検討していきたい。

他の質問項目

- ・職員の働き方について



一志会 佐々木哲夫

観光

新幹線開業に向けての観光誘客を今こそ強化せよ

問 数年前から観光誘客のために提案している北陸新幹線沿線の駅間で、例えば越前市と金沢市を前田家ゆかりの物語で誘客を図るような戦略等は実施しないのか。

答 市観光協会では、「府中城下町」をテーマにその痕跡を見える化し、まち歩きを促進する事業に着手している。特に前田家ゆかりの物語は、この企画と十分連携が可能と考える。広域観光として、金沢市等を訪問し連携・協議していきたい。

他の質問項目

- ・越前市が中心となり丹南地域周遊観光を牽引せよ
- ・文化県都宣言に向け、市民活動をさらに生かすべき

特別委員会委員長報告

議会活性化特別委員会

本特別委員会は、1月30日および3月14日の計2回開催し、今後取り組みべき調査内容等について、協議を行いました。新しくなった議場を活用すること、市議会議員政治倫理条例の課題整理を行うこと、また、有事の際であっても議会を継続するための対応策の協議などに取り組んでいくこととしました。

新しくなった議場の活用については、市の将来を担う子ども達に市政に対する要望や質問を発表する機会を設けることで市政に関心をもってもらうたり、選挙権年齢の引き下げにより、政治や選挙が身近なものとなる中高生を対象に、地方自治に関心を持ってもらう取り組みとして「子ども議会」を開催し、将来の議員の成り手不足の解消につながるきっかけにはどうか。また、災害など有事の際であっても議論を行うことができるよう、先進的な取組の調査研究等を行い、議会BCPの策定に取り組む必要があるのではないかなどの意見が出ました。

その他「議員定数と議員報酬」に対する市民の意見を広く聴取する際の資料と実施体制やスケジュールを確認しました。今後も議会活性化に向け、議員間協議を重ね、研修会や市民との意見交換等を通して、調査研究を進めていきます。

公共交通対策特別委員会

本特別委員会では、2月9日に坂井市のオンデマンド型交通について、視察を行いました。坂井市では、コミュニティバスを運行していますが、乗客が少ない、鉄道との時刻が合わない、集落が点在しているため一つの線で結ぶのが難しい等の課題があったことに加え、これからの人口減少を見据え、高齢者の移動手段強化を図るため、オンデマンド型交通の検討を始めたとの説明がありました。

令和3年5月から市内2地区において実証実験を行い、運行方法や課題を把握・検証し、令和5年1月から市内全域にて運行に至りました。

坂井市のオンデマンド型交通は、通院や買い物等の日常生活に必要な近距離移動を支える交通手段で、予約は電話またはスマートフォンアプリで行い、714か所の停留所間を65歳以上の方は300円、一般の方は500円で移動できます。

停留所の選定にあたっては、過去2年間のレセプトデータを解析し、買い物については、区長アンケートを実施したところでした。

委員からは、実証実験から2年余りで全体的な導入は素晴らしく、本市でも新年度から坂口地区で自家用有償運送の実証実験が行われるが、全的にデマンド交通の実証実験に取り組み必要性を感じた、等の意見がなされました。

視察報告

総務委員会

1月26日(木)527日(金)

千葉県船橋市(オンライン)

船橋市DX推進計画について

埼玉県深谷市(オンライン)

深谷市デジタル化推進計画について

船橋市では、人口構造の変化により、労働生産力の減少が見込まれる中、少ない職員で市民サービスを維持向上させるため、DX推進計画を策定し、業務のデジタル化を進めています。

計画に基づき、窓口のデジタル化を進め「書かない窓口」を実施するなどし、来庁者の負担軽減を図っています。また、RPA導入にも力を入れており、デジタル行政推進課が各課に手厚いサポートを行い、導入に積極的な職員の孤立化を防ぎ、技術支援、運用状況を鑑みた修正を進めることで、RPAの進捗状況について、他自治体からも高い評価を得ています。

委員からは、本市においてRPAを導入、推進していくにあたり、大いに参考になったという意見や、情報担当課が本市より手厚い体制になっているからこそその施策もあり、アウトソーシングを見据えた体制づくりも検討していく必要性を感じた、などの意見が出されました。

深谷市では、市総合計画を上位計画として、デジタル化推進計画を策定しているが、計画を策定するうえで現状把握が不十分で目的と実行範囲をしっかりと定めきれずに国や県からのさまざまな対応を盛り込んだ結果、重点的に取り組むべきものが伝わりづらい形になってしまったとのことでした。

環境基本計画について

問 令和5年度予算に脱炭素社会実現事業が計上されているがその内容は。あわせて、電気料金の値上げをきっかけに自家消費を目的とした太陽光発電の推進を図ってはどうか。

答 武生中央公園に太陽光発電設備を設置して、ゼロカーボンセントラルパークを目指し、市民意識の啓発促進を図る。また、公共施設のLED化により、省エネルギー化に取り組む。太陽光発電の補助については、令和4年度から廃止し、国の支援制度に委ねているが、補助制度の在り方については、今後も研究を続けていきたい。

他の質問項目

- ・市民と協働について
- ・市中中期財政計画について

会派 郷働
橋本弥登志



今後は、すべての申請のオンライン化を目標に、申請の数やオンライン化の難度を測って優先度をつけて取り組んでいくこととしました。

教育厚生委員会

2月7日(火)58日(水)

岐阜県羽島市

部活動の地域移行について

愛知県碧南市

ICT情報把握・共有システムを使った地域支援体制づくりについて

羽島市の竹鼻中学校では、生徒の選択肢を増やすこと、専門性の高い指導者により、持続可能な部活動を実現することの方策の一つとして、令和3年4月より休日の部活動を総合型地域スポーツクラブが行っています。実施から1年を振り返ってのアンケートでは、部活動の顧問との連携などの課題は出たものの、全体的に良好な結果となりました。

今後は、他の市内中学校等の運動部活動や、文化部活動の地域移行、平日の部活動の在り方についても検討していくとのことでした。碧南市では、発達障害支援について、各支援者が他の場所での子ども姿を知らない、支援者ごとに専門用語が違つために支援会議がかみ合わないなどのジレンマを解消するために、統一した基準によって、情報収集を網羅的に、情報把握と共有による理解を深め、具体的な支援方法を環境面と合わせて考えることで、地域支援体制の充実につなげるシステムを構築しました。

システム導入後は、問題解決につながった事例が多くあったとのことでした。

産業建設委員会

1月16日(月)517日(火)

茨城県常総市

アグリサイエンスバレー構想について

株式会社 村田製作所

みなとみらいイノベーションセンター

常総市のアグリサイエンスバレー構想は、一次産業の生産、二次産業の加工、三次産業の販売を常総市周辺に集積させる六次産業の取り組みであり、地域農業も一体となった産業団地で、農地エリアと都市エリアの2つのエリアから構成されています。

この構想においても、官民連携プロジェクトのパートナー企業に戸田建設株式会社を選定しており、信頼関係を築き、民間企業の知見、技術、資金を最大限に生かしていました。株式会社村田製作所の「みなとみらいイノベーションセンター」は、基盤事業と位置づける通信、自動車市場だけでなく、注力市場や新規市場の研究開発を行っており、エネルギーやヘルスケアなどの関東最大級の研究施設であるとともに、関東の優秀なエンジニアを獲得する人材確保の拠点でもあります。また、子ども向け科学体験施設を一般に開放し、子どもが科学の不思議や楽しさを体験できる場の提供を行っています。

革新的な技術・製品の開発や地域貢献など、このイノベーションセンターの役割を実感することができました。今回の視察を参考に今後の委員会審議に生かしていきます。

常任委員会

委員長報告から

2月21日、3月6日、13日、17日に各常任委員会を開催し、提出された議案について審査を行いました。本会議最終日に行われた委員長報告から、審査結果報告の一部を紹介します。

委員長報告全文は6月掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム

総務委員会

移住・定住促進の状況は

問 移住・定住を促進していくにあたり、働きかけのターゲットや補助交付の年齢制限等をどのように設定しているのか。

答 高校を卒業後、県外へ出た学生に、地元に戻ってきてもらうことを重視しており、令和5年度からは、地元に残っている家族向けのワンストップサービスも行ってきたい。また、補助対象に年齢制限は設けておらず、若年層だけでなく、広い世代の方の移住促進に努めていきたい。

交通弱者の移動手段を

問 デマンド交通の今後の進め方は。

答 令和5年度に実証実験を予定しており、越前たけふ駅周辺地区と今立地区の2つのエリアで実施を考えている。

問 高齢者や障害者といった交通弱者は市内全域にいるが、そういった方々への配慮は。

答 デマンド交通は、特に高齢者の移動手段として想定しており、実証実験の実施にあたっては、町内集会やいきいきふれあいのつどいの場において、事業内容の丁寧な説明を行い、実証実験に取り組んでいく。また、実験成果を踏まえ、既存の公共交通とのバランスを見ながら、将来的には、市内全域への対象区域の拡大を検討したい。

紫式部プロジェクト事業の費用想定は

問 市の歳出予算として計上されている金額以上の総事業費を想定し、事業収入を事業費に当て込んでいるのであれば、収入が想定に達せず、事業全体が赤字になるおそれがあるが、その場合の市の対応とは。

答 推進協議会の運営が赤字となるよう、市としても応援していきたいが、仮に赤字となった場合は、何らかの補填を行う可能性がある。

多文化共生を目指して

問 自治の現場においては、共生のための交流以前に日常のトラブル解決等が喫緊の課題となっているが、関係者との協議をどのように実施しているのか。

答 例えば外国人市民を多く雇用している企業では、地域に暮らす外国人の声や、地域が抱えるトラブルや悩みなどを区長にヒアリングし、市と企業が情報を共有しながらそれぞれの所掌範囲において、課題解決に向けて対応している事例がある。アフターコロナに向けて、引き続き企業や区長と連携するとともに、令和5年度の多文化共生推進プランの改定においても、外国人市民をはじめ地域の方々の協力や参画を願ってほしい。

他の報告事項

● 地域自治振興事業について

教育厚生委員会

発達障害支援体制の連携と情報共有を

問 児童発達支援センターの委託の内容は。

答 専門職がマンツーマンで実施する個別の療育、中高生の療育、サービス等利用計画を作成する計画相談支援を委託する。市の職員が地域連携推進マネージャーとなり、関係機関との連携強化を図っていく。



児童発達支援センターなないろ

水泳学習委託の成果は

問 令和4年度の事業成果は。

答 アンケートによると、専門家の指導を受けられ、泳力向上の面で良かったとの教員の意見や、児童からの意見もおおむね好評だった。

問 教職員の業務負担の変化は。

答 自校で授業を行う際には、水質検査や塩素管理など、毎日の管理が必要だったが、その分の負担がなくなっている。

100年に一度の機会を生かした事業を

問 令和5年度は、図書館創立100周年であり、かきこしふるさと絵本館も10



武生中央公園温水プール

周年を迎えるが、事業計画は。

答 図書館では、100年前の武生に関する展示や講演会、紫式部関連の連続講座を予定している。絵本館でも年間を通した展示に加え、周辺の施設、イベント等と連携して事業を実施していく。

他の報告事項

- 社会福祉協議会への補助金の見直しについて
- コミュニティセンター柳荘別館の廃止の経緯と今後の活用方法について
- 合宿通学事業委託料について
- いきいきふれあいのつどいについて
- 国民健康保険における生活習慣病予防対策について

産業建設委員会

農業委員等の報酬体系を見直す背景は

問 農業委員等の報酬体系を見直す背景及び報酬支払いの審査方法は。

答 農業経営基盤強化促進法が今年度改正され、人・農地プランの策定が義務づけられたことにより、農業委員等の行う農地のあっせん、遊休農地の発生予防・解消等の

業務がより重要となったため、現場確認等の実績に応じた報酬を追加した。また、報酬については、活動や実績について月単位で記録し、申告されたものを審査して支払う。

ふるさと納税の今後の見通しは

問 企業が本市に企業版ふるさと納税を行った経緯は。

答 企業版ふるさと納税マッチング支援業務をおして本市を紹介されたものであり、生産年齢人口の確保のための施策に有効に活用して欲しいとの意向があった。

問 ふるさと納税の今後の見通しは。

答 企業版ふるさと納税は、内閣府に届け出た自治体に対して行われるため、いかに選ばれるか他市と競争になる。より多くの企業に選ばれるようにPRしていきたい。

(仮称)越前たけふ未来創造基地基本構想策定支援業務委託料の詳細は

問 委託の内容と委託先の詳細は。

答 今後、運営の形態や整備手法などの委託内容については、詳細を決定していくことになるが、委託先はコンサル系の会社を想定している。

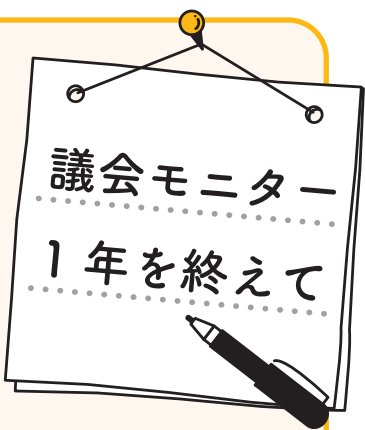
まちづくりへの空き家活用を

問 住宅支援事業における調査等委託事業の詳細は。

答 まちなかの空き家の実態調査委託、及び空き家の利活用の委託であり、利活用が可能な空き家については、流通を促す実験的な取組みとして、まちづくり武生株式会社を対象とする物件を確保し、その物件に見合った改修を2年間で実施する。

他の報告事項

- 伝統工芸職人塾補助金について
- 土砂災害 危険住宅 支援事業補助金について
- 補助公園整備事業について



令和4年度の議会モニター会議では、各定例会ごとの会議に加え、総務委員会、議会活性化特別委員会などの意見交換を行いました。1年を通して、議会モニターの皆さんからいただいた意見の一部を紹介します。

本会議・委員会の傍聴

●小学生の議場見学だけでなく中学生、高校生にも議会参加の場を設けるとよいのではないかと。政治に興味を持つきっかけになると思う。

●一般質問をほとんどの議員が行っているのはよいと思った。

●一般質問時の資料が細かいため見えにくい。人が集まりやすい施設で議会を開催すれば、もっと多くの市民が傍聴に来るのではないか。

●予算書等を見ても、どこを見るところが分かりにくい。ポイント等を示して分かりやすくしてほしい。

議員との意見交換

●福祉や子育て、環境などテーマや分野に分けて語る会を開催してはどうか。テーマが決まっていると関心がある人が集まり、考えやすく、意見を言いやすい。

●子ども向けの遊具があるなど不便に感じているいないまちなかの人だけではなく、山間部の人などの意見もくまなく聞かせてほしい。

議会モニター制度

●モニター提案や意見が議会、議員間でどのように検証されているのか過程も含めて示してほしい。

●モニターもペーパーレス化を進めてほしい。タブレットがあるとうれしい。

●夜間や休日の開催についても検討してほしい。

●モニターの数をもっと増やしてほしい。モニターの間口を広げて、大学生や若い人をどう取り

込んでいくかにもっと尽力してほしいのではないかと。それが政治に対する興味につながるし、多くの人から意見をもらうことができる。

議会だより

●議会だよりに掲載、意見書の全文を掲載してほしい。タイトルだけでなく、内容の詳細を知りたい。

議員の成り手不足について

●兼業の人も議員になりやすいように、夜間の開催やオンライン会議を利用するなど会議に参加しやすい対応をするとうれしいのでは。女性議員も増やし、女性目線からの意見を取り入れてほしい。

●議会に関する関心の低さを実感している。市議会には、身近なものであるはずなのに、心興味を持つ人が少ないので、どうしたら関心や興味を持ってもらえるか議員活動のPR方法を考える取組を行うことで、開かれた議会になっていくのではないかと。

議会モニター意見による改善例

令和4年度には、モニター意見を受けて改善された具体的な事例として次のようなことがあります。

事例

【意見】議場傍聴に来た際、来庁者と話したが、議会が行われていることを知らないし、傍聴できないことも知らなかった。議会を開催しているという案内看板があれば、市役所に来たついでに傍聴してみようと思う人があってもいい。

【対応策】令和4年9月定例会より、市役所玄関と3階議場付近に、議会開会中に傍聴できる旨を記した看板を設置しました。

モニター制度とは？

議会への市民参加を推進する取り組みの一環として、市民の意見を議会活動に反映できるよう議会運営に対する要望やご意見をいただくために平成28年に導入された制度です。

議会モニターの皆さん

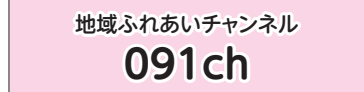
- 岩田 良司 (越前たけふ農業協同組合推薦)
宇野 純子 (武生商工会議所推薦)
加藤 のぶ子 (公募)
児玉 勝 (市社会福祉協議会推薦)
田畑 剛 (武生商工会議所推薦)
内藤 則幸 (公募)
中野 博美 (市女性会推薦)
仲保 則子 (公募)
藤井 武宏 (市商工会推薦)
万所 繁雄 (市自治連合会推薦)
三田村 範幸 (市いきいきシニアクラブ連合会推薦)
向井 智 (武生青年会議所推薦)
山田 佐智生 (連合福井丹南地域協議会推薦)
(五十音順・敬称略)

議会中継は丹南ケーブルテレビやインターネット・スマートフォンでもご覧いただけます

丹南ケーブルテレビの場合

丹南ケーブルテレビで議会放送を見るときは92チャンネルです。議会放送中、091チャンネルは図のようになります。

【通常放送時】



【議会放送時】



議会放送を見るためにはリモコンのこのボタンで092チャンネルに合わせてください。

インターネット・スマートフォンの場合

本会議の録画映像は「見たいときにいつでも議員ごとに見ることができます。議会中継をご覧になるときは、市のホームページから入って次の手順でアクセスしてください。

①越前市議会をクリック



②インターネット議会中継をクリック



6月定例会日程

Table with 4 columns: 月日 (Date), 時間 (Time), 会議名 (Meeting Name), 丹南ケーブルテレビ再放送予定時間 (Rebroadcast Schedule). Rows include dates from 6月13日 to 7月6日 with various meeting names like 本会議, 教育厚生委員会, etc.

本会議や委員会の傍聴ができます

傍聴をご希望の方は、市役所西棟3階の議場傍聴席入口横の受付（委員会傍聴の場合は第3委員会室入口）までお越しください。

- ◆お子さま連れでも傍聴いただけます。
◆手話通訳をご希望の方は、傍聴希望日の10日前までに、議会事務局まで申請をお願いします。